

澤村インナー部内見会

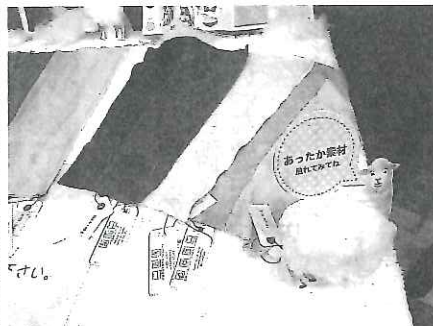
触って感じるあったかさ

独自開発の新素材訴求

澤村のインナー事業部インナー部は、17秋冬向けの触って感じるあったかさ素材など、独自開発の新素材をアピールする。19日から21日まで同社の大阪中央支店(大阪市中央区)で開く内見会で披露している。

「feelを感じる」をテーマとする今回の内見会は、実際に素材に触れることで生地の特徴をより感じることができると、インナーを設けるなどの趣向を凝らす。「触って生地特性を感じてもらおうほか、お得感や使いやすさなど、テーマ通りに素材

からいろいろなことを感じてもらいたい」とインナー部の榎本智之部長は語る。



あったかさ素材のサンプル

特に17秋冬向けのあったかさ素材では、腕を通せる形状に加工したサンプルを並べ、来場者を実際に腕を通してもらうことで、素材の微妙な違いを感じてもらおう工夫を凝らした。

小ロットを求める声が強まる中、同社が生機、色をストックし、1反からでも対応できる素材「NEXT STAGE」は、リヨセル使いの新品番候補を披露した。染色できる生機をストック素材も多くの新素材を展示した。

4人のデザイナーを擁してオリジナル企画を開発するレース素材では、買いやすさ、お得感を重視した台湾生産のエンブroidアリーレースなどを打ち出している。